

## 第4章 北海道地方の年最深積雪・年降雪量の将来予測

### 4.1 年最深積雪

図 4.1-1 は、地域気候モデルによる現在気候に対する将来気候の年最深積雪の変化率を分布で示したもので、図 4.1-2 及び付表は、北海道地方と地域別の変化率と年々変動の幅を示したものである。

年最深積雪は、各地域で有意に減少する。

北海道地方の年最深積雪は約 44%の減少となっており、地域別では太平洋側の比率がやや大きく約 50%の減少となっている。

分布図では内陸部を中心に減少率が小さくなっている。これは、沿岸部と比べてより寒冷的な内陸部では、地球温暖化がある程度進行した場合でも沿岸部と比べて降雪が積雪として持続しやすいこと等が要因であると考えられる。

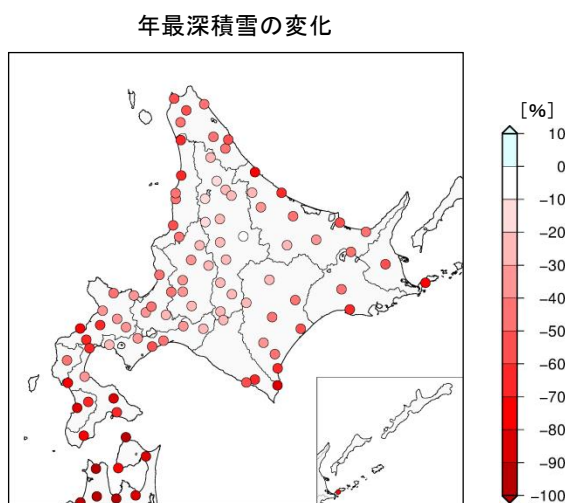


図 4.1-1 北海道地方の年最深積雪の変化（単位：％）〔バイアス補正済み〕

現在気候に対する将来気候の変化率（4メンバーそれぞれの予測結果において、増減傾向が全て一致した地点のみ信頼性が高いと評価しプロット）。※地点別の変化に着目せず、地域全体の平均的な変化傾向として捉えるようにしてください。

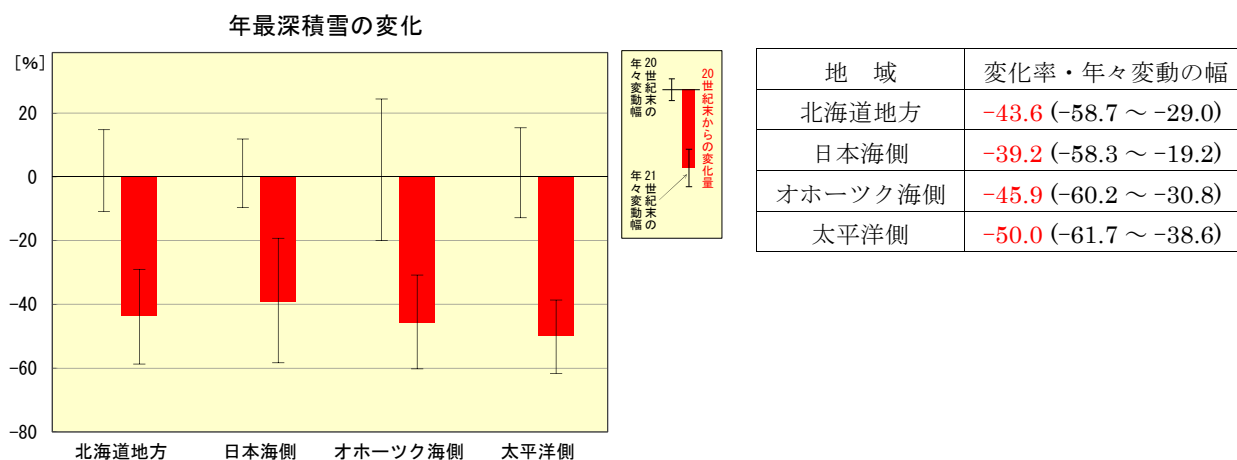


図 4.1-2 北海道地方及び地域ごとの年最深積雪の変化及び付表（単位：％）〔バイアス補正済み〕

棒グラフは現在気候に対する将来気候の変化率（4メンバーの平均）を、細い縦線は現在気候と将来気候の年々変動の幅（年々の値が約 68%の確率で出現する幅）を示している。付表は将来気候における変化率と年々変動の幅を示し、その変化量が信頼度水準 90%で有意に減少する場合は赤字としている。※地域によっては地域内の変化量が大きく異なる場合がありますが、ここでは地域全体の平均的な変化率であることに注意してください。

## 4.2 年降雪量

図 4.2-1 は、地域気候モデルによる現在気候に対する将来気候の年降雪量の変化率を分布で示したもので、図 4.2-2 及び付表は、北海道地方と地域別の変化率と年々変動の幅を示したものである。

年降雪量は、各地域で有意に減少する。

北海道地方の年降雪量は約 38%の減少となっており、地域別では太平洋側の比率がやや大きく約 48%の減少となっている。

分布図では内陸部を中心に減少率が小さくなっている。これは、沿岸部と比べてより寒冷的な内陸部では、地球温暖化がある程度進行した場合でも降雪が降水に変わる割合が沿岸域と比べて少ないこと等が要因であると考えられる。

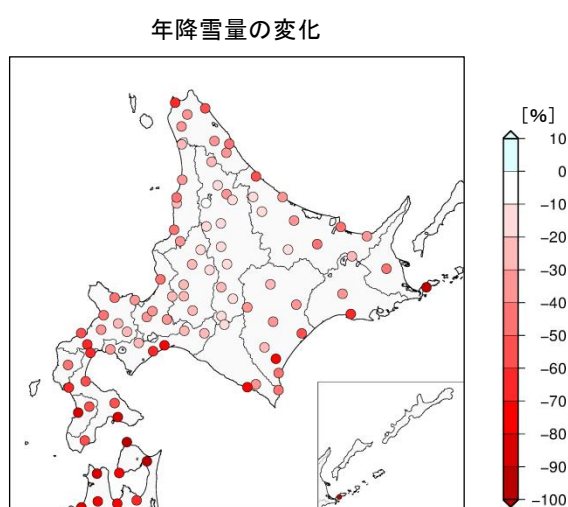


図 4.2-1 北海道地方の年降雪量の変化（単位：％）【バイアス補正済み】

現在気候に対する将来気候の変化率（4 メンバーそれぞれの予測結果において、増減傾向が全て一致した地点のみ信頼性が高いと評価しプロット）。※地点別の変化に着目せず、地域全体の平均的な変化傾向として捉えるようにしてください。

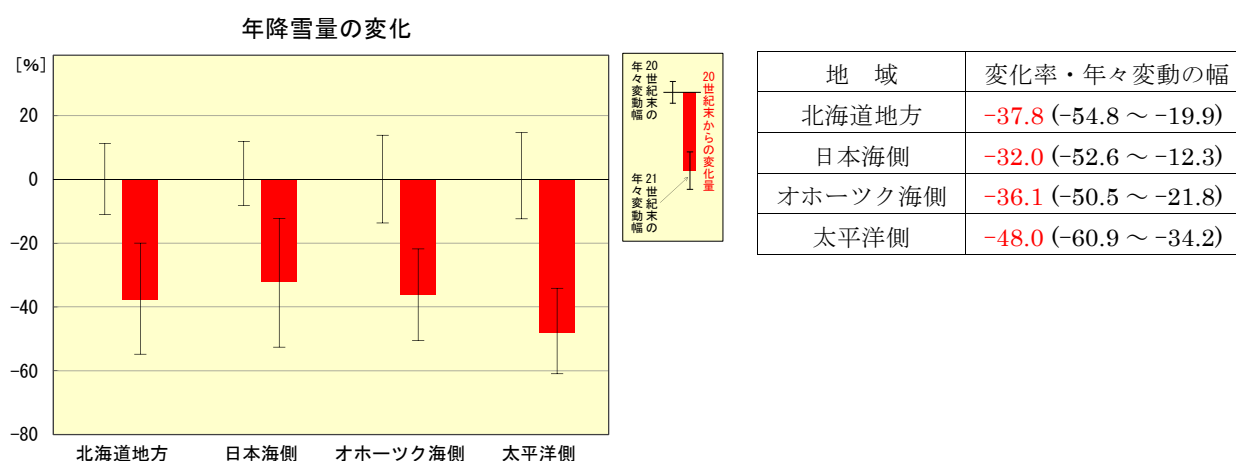


図 4.2-2 北海道地方及び地域ごとの年降雪量の変化及び付表（単位：％）【バイアス補正済み】

棒グラフは現在気候に対する将来気候の変化率（4 メンバーの平均）を、細い縦線は現在気候と将来気候の年々変動の幅（年々の値が約 68%の確率で出現する幅）を示している。付表は将来気候における変化率と年々変動の幅を示し、その変化量が信頼度水準 90%で有意に減少する場合は赤字としている。※地域によっては地域内の変化量が大きく異なる場合がありますが、ここでは地域全体の平均的な変化率であることに注意してください。